

No	19	分類	2-(1)-イ	資料名	わたしは わたし	学年	2年	領域	特別活動（学級活動）
----	----	----	---------	-----	----------	----	----	----	------------

1 ねらい

- 外見の違いと同様に、それぞれが異なる個性があり、思いや願いも違うことに気づく。

2 趣旨

- 等身大の自分を作り、互いの個性やよさに気づく活動を通して、自分を肯定的に捉えさせるとともに、人間関係の活性化を図る。

3 配慮事項

- 活動は生活科や道徳にも関連づけるなど、柔軟な展開が望ましい。
- それぞれの活動の後で、自分自身を振り返る時間を設定すると効果的である。

4 展開例

- 以下の(1)から(2)までの一部または全部を計画的・継続的に扱うことが考えられる。

(1) ダンボールで自分の体をつくろう。

- ① 「なかよしペア」づくり
 - ・ゲームをしながら楽しい雰囲気、二人組を作る。
- ② 等身大の自分をつくろう。
 - ・「なかよしペア」で、お互いに体の輪郭をとり合う。
 - ・色を塗ったり、紙や布を貼ったりして、等身大の自分を仕上げる。
- ③ 等身大の自分をそばに置いて、ワークシートに自分の紹介を書き、発表し合う。

(2) いいところ見つけをしよう。

- ① 友だちのいいところを見つけよう。
 - ・「きらきらポスト」をつくり、教室に設置する。
 - ・ペアの友だちのいいところを「きらきらカード」に書いて、「きらきらポスト」に入れる。
 - ・「いいところ見つけ」を、ペアの友だち→班の友だち→クラスの友だちへと広げていく。
 - ・「きらきらポスト」の中の「きらきらカード」を整理する。
- ② 友だちのいいところをみんなに紹介しよう。
- ③ 自分への手紙を書こう。

5 参考

- 自分を紹介するカードなど。